

令和 8 年度事業報告（第 3 期）

(2025.7.1～2026.6.30)



特定非営利活動法人リテックス

定款に定められた事業についての報告

(1) ごみ軽減化に向けた普及啓発事業

今期は、中古衣料が抱える課題と、地域社会における子どもたちの健全育成をテーマに講演を行いました。中古衣料については、回収方法が環境や社会に及ぼす影響を解説し、適切な循環のあり方を伝えることで、衣料回収につなげました。また、リテックスが取り組む子どもたちの居場所づくりについても紹介し、活動への理解と協力を呼びかけました。

月日	主 催	イベント名	場所	テーマ	参加数
7・17	甲東エココミュニティ会議	令和7年度第1回研修会	アプリ甲東園	中古衣料の現状について	48
7・31	西宮恵比寿ロータリークラブ	例会	ホテルヒューイット甲子園	リテックスの活動について	25
8・1	西宮市自立支援協議会	キックオフミーティング	アプリ甲東園	リテックスの活動について	7
8・2	阪神地区人権・童話教育研究会	人権・同和教育研究議会研修会	川西市立川西北小学校	リテックスの活動について	70
8・26	子ども子育てネットワーク	子ども子育てネットワーク協議会	西宮市総合福祉会館	リテックスの活動について	40
3・13	西宮恵比寿ロータリークラブ	例会	ホテルヒューイット甲子園	リテックスの活動について	25

(2) 中古衣料等の回収・再資源化に向けた事業

今期に回収した中古衣料の総重量は7,970 kgでした。このうち、回収袋を購入して郵送されたものは20袋、計294.4 kgで1袋当たりの平均は15 kgでした。その他は、各方面から直接または知人を通じて寄付されたものや、毎週開催する「おかえりリテックス」に子どもたちが持参したものでした。また、バザーの残品回収も定着し、中古衣料に加えて、食器、雑貨、本、段ボールなどのほぼすべてを引き取ることで、主催者の負担軽減に貢献しました。食器や雑貨、靴、鞆などを買い取る仕組みを確立できたことも、大きな成果となっています。



寺子屋での回収



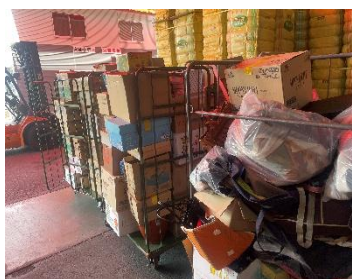
協力店舗前に回収袋を設置



バザー会場での雑貨品



バザー会場の雑貨品



持ち帰った雑貨品



雑貨品の買取

(3) 地域福祉特に子供たちの健全育成を進める事業

西宮市のコープこうべ甲東園店裏にある集会室 CO・KO で始めた無料塾と親子食堂は、3年目を迎えました。今年2月には「おかえりリテックス」へ名称を改め、子どもたちの居場所づくりをより重視する活動としてリニューアルしました。毎週金曜日の17時から19時までは学習・自習の時間とし、19時からは、学習中にボランティアスタッフが調理した食事を皆でいただきます。食事づくりは週ご

とに担当を分け、第1週は管理栄養士、第2週は「ぽこた」、第3週は「ふれあいうさぎ食堂」、第4週はカレーの日として、それぞれ工夫を凝らした献立を用意していただいています。

食材価格の上昇が続き、費用面では厳しい状況にあります。お米を毎月定期的にご寄付いただいております。また、賞味期限が近いヨーグルトや飲料なども定期的に寄付していただいております。

今年度は51回開催し、延べ1,397人が参加しました。1回当たりの平均参加者数は27人です。総食材費は547,403円で、1人当たりの平均は391円となり、昨年度と同額でした。



学習風景



海外からの訪問者とのふれ合い



楽器体験



調理風景



自分で準備



淡路農家からの提供

(4) 雇用を拡大する事業

地域の福祉事業団と連携し B 型就労者向けの仕事を提供して障害者の雇用拡大に寄与しています。伊丹市にあるワークスペース満太郎において、工場で使うウエスの制作を行ってもらっています。高島産業の全面協力の下、裁断機械の無償貸与や現地指導を行いながら製作を続けてもらっています。現地視察させていただくと、制作担当者が「作ることが楽しいです」と話してくれ、業務として取り組んでいることに嬉しく思いました。この1年間のウエス生産量は1,756kgでした。制作量としては多くはありませんが、今後も続けていっていただきたいと思います。



満太郎での作業風景



満太郎での裁断風景



納品前のウエス

まとめ

特定非営利活動法人リテックスは、第3期を無事に終え、活動をご報告できることを嬉しく思います。地域貢献の取り組みでは、今年2月に運営体制を見直し、従来の「寺子屋」を、子どもたちの居場所づくりをより重視した「おかえりリテックス」へ刷新しました。協力いただけるボランティアスタッフも増え、心強く感じています。また、お米や乳酸菌飲料をはじめ、飲み物や食材を継続的に提供していただくなど、各方面からのご支援に深く感謝しています。

資金面では、今期も「西宮市子ども食堂運営支援事業補助金」による食材費の支援に加え、「コープともしび財団」から助成金をいただき、大きな支えとなりました。来期も両支援の継続が決まっており、活動を一層充実させられると考えています。

今後は、リテックス本来の目的である中古衣料の現状への理解を広げ、回収を促進する仕組みをどのように進めるべきか、改めて検討する必要があります。また、リサイクルの観点から、小学生のスポーツとの関わりをつなぐ取り組みとして、野球用具の回収・リサイクル活動を進めたいと考えています。子ども食堂についても、この場所に来られない子どもたちのために、こちらから出向く活動の可能性を模索します。「おかえりリテックス」では、これまでどおり、地域の子どものために着実な活動を続けていきます。

以上、第3期の事業報告と今後の取り組みについてご報告しました。今期もご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後も一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(文責 馬場弘行)